
Igreja da Misericórdia de Freixo de Espada à Cinta

について

16世紀初頭に建てられたフレイショ・デ・エスパーダ・ア・チンタ慈悲教会は、当時の特徴的な建築様式であるマニエリスム様式とバロック様式の組み合わせを示しています。

長方形の平面図を呈しており、他の同様の教会とは異なり、狭く高い身廊から、金箔の彫刻が施された祭壇のある広い後陣へと続いています。16世紀の丸いアーチの扉を備えたシンプルな外観の上には、ガーゴイルと紡錘形の尖塔が飾られています。

問い合わせ先

Praça Jorge Álvares

バリアフリー案内